

テーマ

- ◎ 概念データモデリングに基づくビジネスアーキテクチャの把握
- ◎ 教育サービス会社への概念データモデリングを用いた業務改善提案

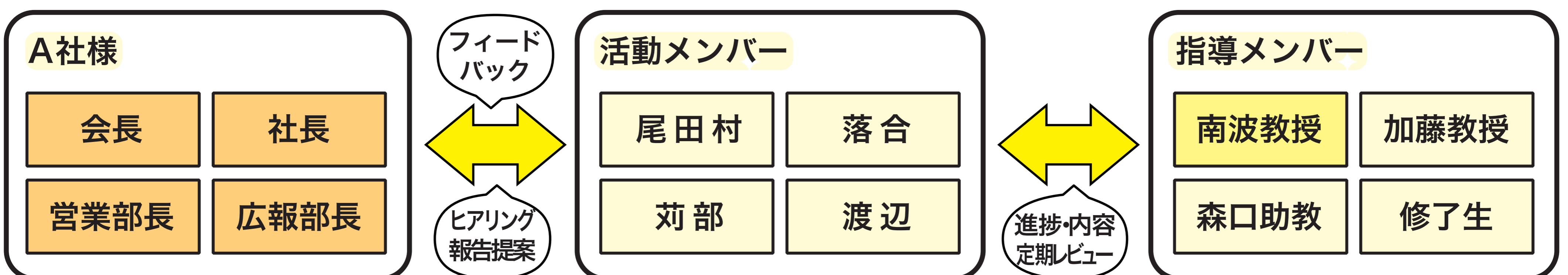
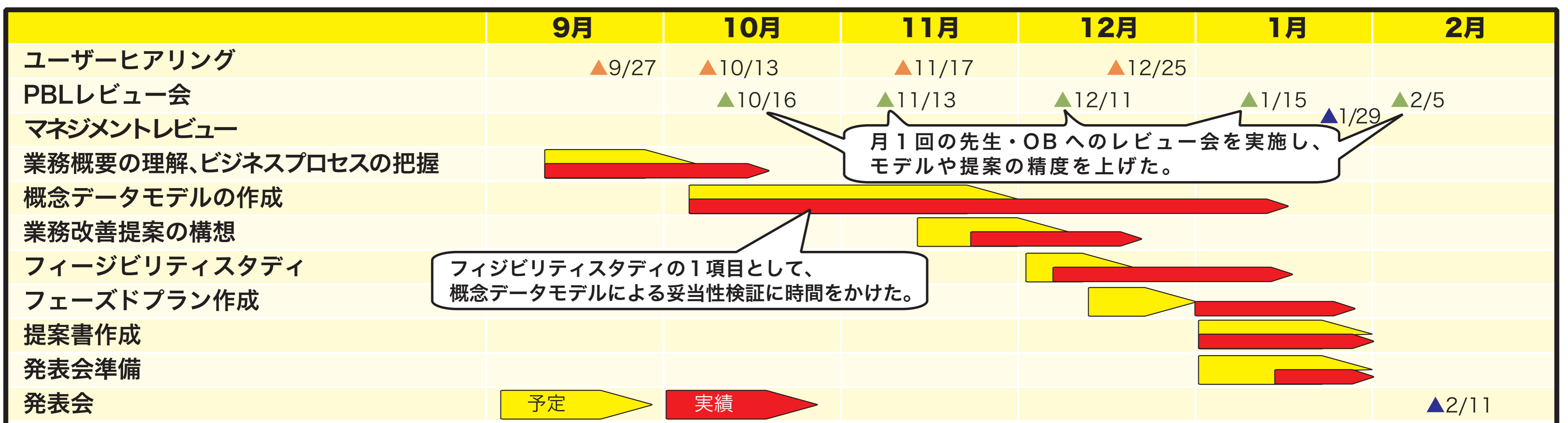
※ 概念データモデリングとは、ビジネスに関与する人々の心の中にある諸概念を捉え、「データ」を媒体として表現する。

目的

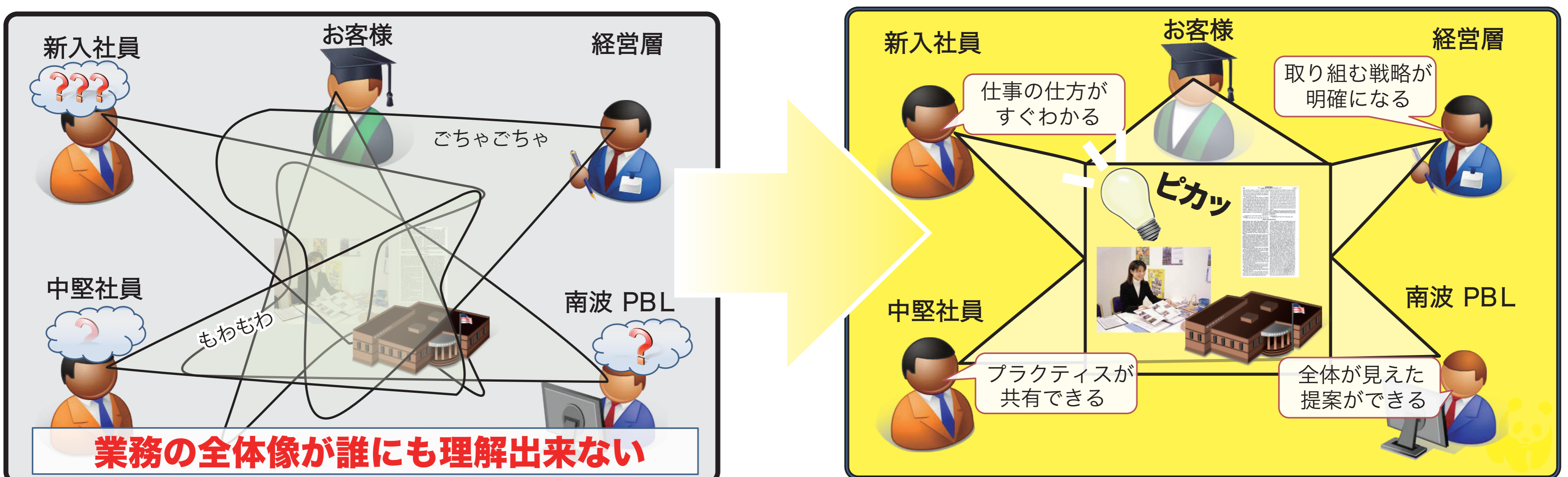
企業のビジネス構造を理解し、業務改善提案を策定する手法として概念データモデリングを適用する。このモデリングプロセスを通じ、ユーザーが受け入れ可能かつ実行可能な業務改善提案を作成する技術の習得を目指す。

活動概要・予実・体制

教育サービス会社を対象に、経営層・スタッフと数度のヒアリングを行い、概念データモデルを作成した。そのモデリングから抽出された課題に対して、再び概念データモデルを作成し業務改善提案を策定した。業務改善提案に対し、実現容易性・ビジネスプロセスへの波及度・該当企業のコアファンクションへの寄与度・実現にかかるコストを算出し、実行可能なプロセスとしての業務改善提案を作成した。



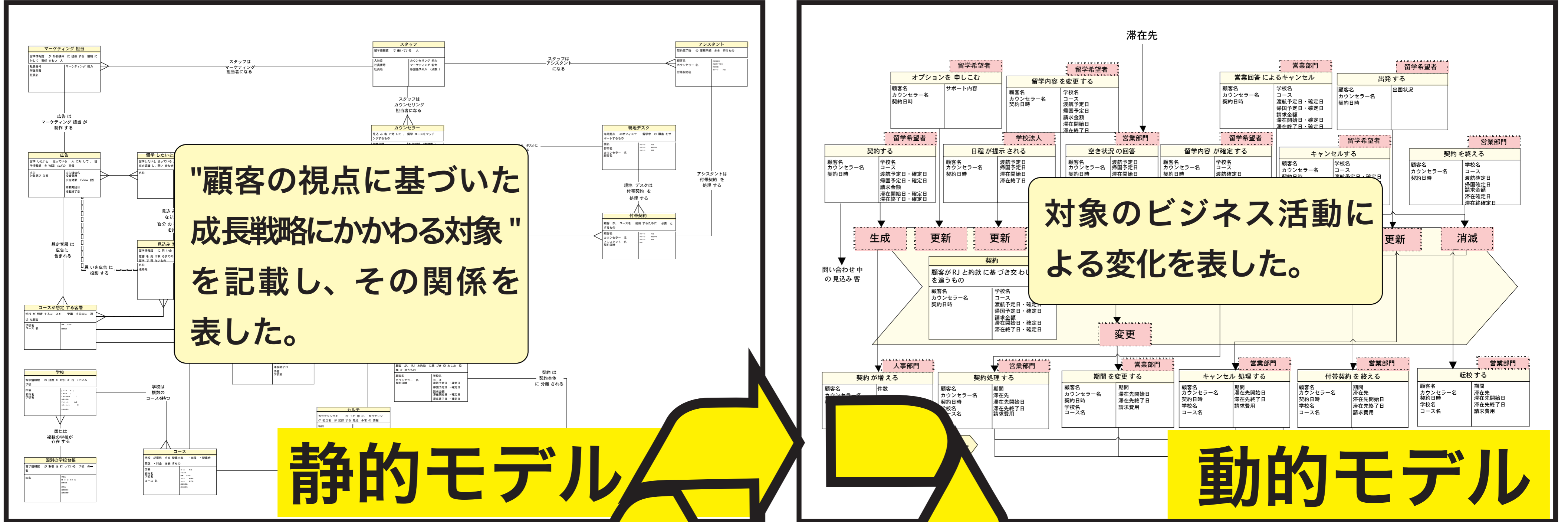
概念データモデリングでわかること



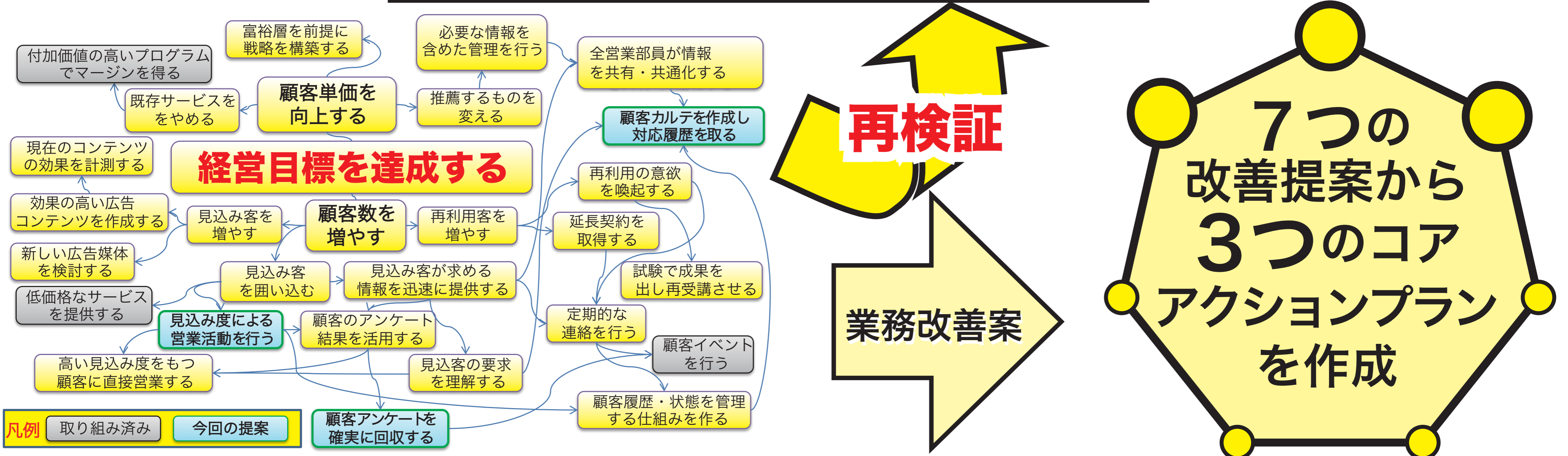
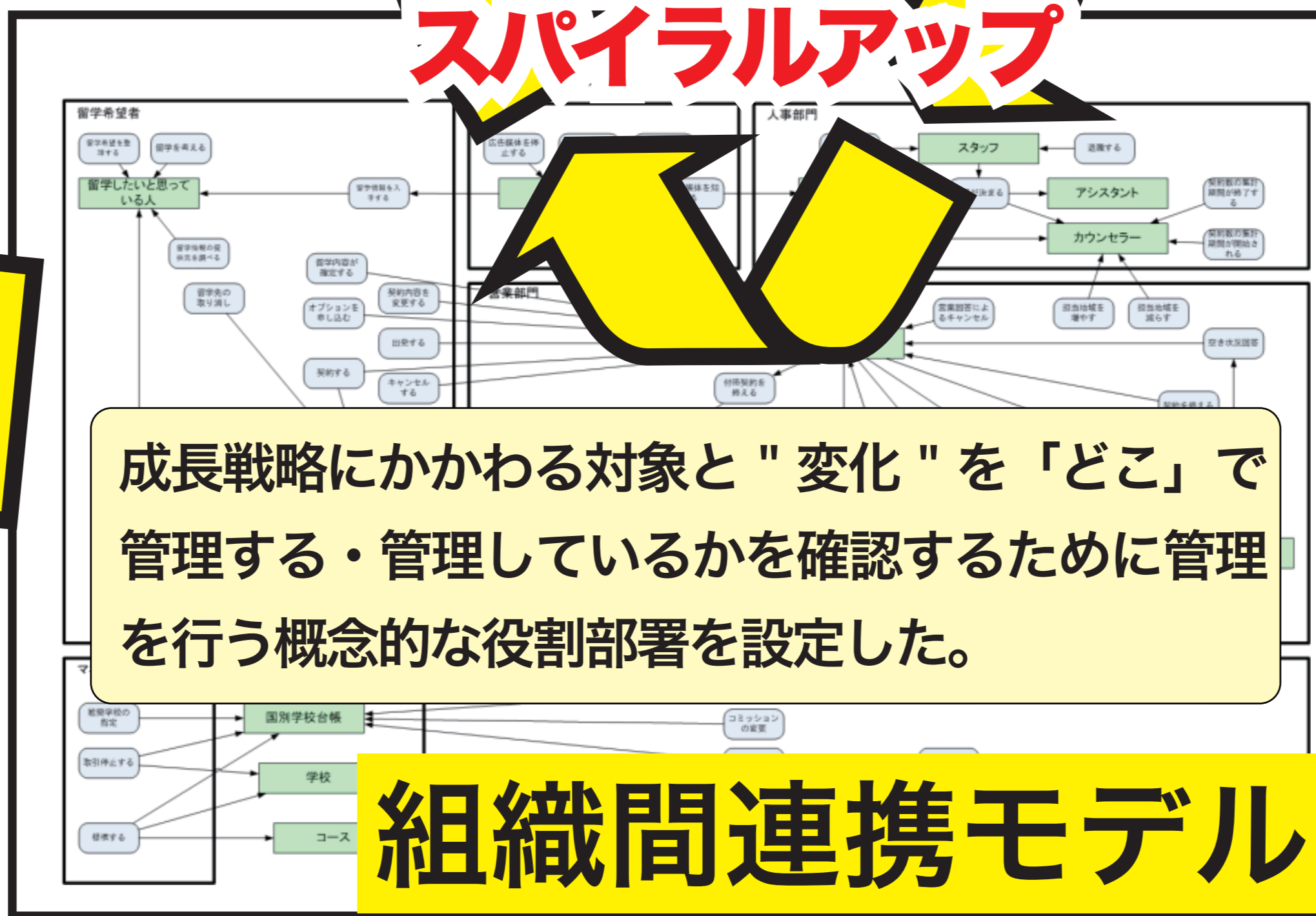
分析・検討のプロセス

- ① 事業内容把握**
 ・ 業務ヒアリング
 ・ 事業領域図作成
- ② 現状分析**
 ・ アクティビティ図作成
 ・ 概念データモデル作成 (ASIS)
- ③ 課題認識**
 ・ 課題の抽出
 ・ 連関図作成
 ・ 概念データモデル作成 (TOBE)
- ④ 改善案の検討**
 ・ フィジビリティスタディ
 ・ フェーズドプラン作成
 ・ 業務改善提案書作成

ヒアリングに基づく3種のモデルによる提案の玉成



課題抽出



ご協力いただいたA社様からのご評価



A社 社長様

短期的・長期的にも私達が行うビジネスの上での判断材料を提供していただいた。考えつかなかったことをアドバイスしてもらい、私達自身の勉強にもなった。一番有効だったのは、業務の全体像やフローを視覚化して頂き、もう一度ビジネスを見直すきっかけになった。また、論理的に物事を考える時間が作れた。具体的にいただいた提案を採用する点もあったし、提案から私達の中でもう少し練って発展させるべきものもあった。今後はこの提案を実践し、業務に活かすことで、ビジネスを加速させていきたい。